

## ▼中国

### 「柳川 川柳学校」

校長に久米田氏就任

吉原 司郎(OHK)

令和3年も残りわずかととなった12月29日、岡山支部の理事会が開催されました。新型コロナウイルス・ウイルス感染者数も抑えられ、来る令和4年に何か大きな期待が持てる夜、6名の理事たちが集まり、アルコール消毒をしてソーシャル・ディスタンスを保ち、マスク着用で会議が始まりました。

令和2年3月以降行われていなかった「行こう会」や、対面授業ができずWEB学校となっていた「柳川 川柳学校」の再開等々について話し合いがなされました。当日の最も大きな議題は「柳川 川柳学校」の校長の交代についてでした。平成27年10月の開校以来、長年にわたりお世話になった校長の菅田さんが勇退され、新しく久米田さんが就任し、令和4年度以降再スタートを切ることになりました。久しぶりの夜の会合に集まった理事たちにとつて希望に溢れるものとなりました。

ところが、年も明け三が日が



「対面授業」可能だった頃の川柳学校

過ぎた頃、オミクロン株の影響か、感染者数が急拡大し、第6波が始まりました。ある程度の覚悟はしていましたが、はるか想像を超えるものでした。岡山県も1月27日から2月20日まで「まん延防止等重点措置」がとられ、期間中の支部のイベントはすべて中止となりました。一日も早い新型コロナウイルスの沈静化を祈り、3回目のワクチン接種を終えてみんなでお会いの日を望むかぎりです。

### 足立美術館と

鍋料理を楽しむ集い(※)

北尾 修(TSK)

コロナ禍で1年半休止していたエリア探訪を久しぶりに再開。錦秋の山陰路、日本一の名庭園と横山大観、北大路魯山人が鑑賞できる足立美術館の探訪です。良く晴れたこの日は絶好の行楽日和。緊急事態宣言が解除になり、やや平穏を取り戻した観光地ですが、まだ観光客はまばら。繁忙期なら超満員になる足立美術館も団体客が少なく、ゆつくり鑑賞できました。

参加者19名は庭園、絵画、陶芸がすべて大好きという美術ファンの皆さんです。コロナ禍で自宅閉じこもりの生活から解放され、思い思いに錦秋の庭園や絵画を楽しんでいました。

足立美術館の庭園は18回連続「日本一」を誇り年中無休、専属の庭師が毎日手入れをし、整備された庭に借景と枯山水庭の組み合わせは絶景です。「庭は一幅の絵画である」と創設者の足立全康が言ったとおり、まさに庭園は一枚の絵画を想像させるものでした。

鑑賞が終わると、近くの温泉旅館で鍋料理に舌鼓を打ち、参

加者らは味覚と芸術の秋を満喫しました。



鍋料理を囲み記念撮影



錦秋の枯山水庭

(※) 本記事は、昨年、中国会報誌に寄稿頂いたものの再掲です。